

畜産人材育成研修生が研修を終え、新たな扱い手へ

当センターでは、府内で畜産業に携わる人材を育成するため、令和2年度から畜産人材育成研修を行っており、昨年の12月23日には、酪農を志望する第4期生1名が2年間の研修を終え巣立ちました。

研修生は、1年目に基礎的知識を身に着け、2年目には家畜人工授精師や受精卵移植師の資格を取得、当センター以外にも数々の酪農インターンシップを経験するなど、着実に実践力を身に着けていきました。

今後は、京丹後市内で独立就農に向け準備を進めることとしており、当センターも研修修了後のきめ細やかな伴走支援を行うことで、新たな畜産の扱い手をしっかり支えてまいります。



研修生を囲んで記念撮影

畜産センター